

## コレクション展

### 展示室4 [4F]

富山市ガラス美術館所蔵の現代ガラス作品を展示します。

社会の変化や次々に生み出された新しい価値観に呼応するような作品群が集結します。

(※作品は定期的に展示替えします。)



エルヴィン・アインシュタイン(そして私の仮面は落ちた(鏡像ピカソシリーズより))  
1997年 富山市ガラス美術館所蔵 撮影:末正真礼生

## グラス・アート・パサージュ

(公益施設内)[2F-4F]

富山ゆかりの作家20名による作品およそ50点を2階から4階の公益施設内に展示しています。

[ 観覧料無料 ]

(※作品は定期的に展示替えします。)



西山雪《Your Choice, Your Life》2015年  
富山市ガラス美術館所蔵

## グラス・アート・ガーデン

[6F]

現代ガラス美術の巨匠デイル・チフリー氏によるインスタレーション(空間芸術)5作品を展示しています。チフリー氏の代表的なシリーズである「ペルシアン」、「フィオリ」などがご覧いただけます。



デイル・チフリー《トヤマ・フロート・ボート》2015年  
H60×W917.5×D657.5cm 富山市ガラス美術館所蔵

## ご利用案内

	開館時間	休館日
常設展	午前9時30分～午後6時 (金・土は午後8時まで)	第1、第3水曜日 年末年始※1
企画展		
カフェ	午前9時30分～午後7時 (金・土は午後8時まで)	第1水曜日 年末年始
ミュージアムショップ		
ギャラリー1・2	※2	※2

※1 企画展により、閉場日が異なる場合がございます。  
※2 ギャラリーの開場時間及び閉場日は展覧会により異なります。詳細は展覧会主催者へお問い合わせください。  
○入場時間は閉館時間の30分前までとなります。  
○展示替え作業等で休館する場合があります。

## 観覧料

	一般(団体)	大学生(団体)
常設展		
コレクション展(4F)	¥200(¥160)	¥200(¥160)
グラス・アート・ガーデン(6F)		
雲母Kira 平山都夫とシルクロードのガラス展	¥1000(¥800)※1	¥800(¥600)
アン・ヴォルフ展	¥700(¥500)	¥500(¥300)
企画展		
家住利男展	¥700(¥500)	¥500(¥300)
アン・ヴォルフ展 家住利男展 共通観覧券	¥1,000(¥800)※1	¥800(¥500)
国内作家グループ展(仮)	¥700(¥500)※1	¥500(¥300)
北陸の作家展(仮)	¥500(¥300)※1	¥300(¥200)

※1 前売り券の取り扱いがある観覧券です。前売り券の詳細についてはお問い合わせください。

○団体は20名以上です。○企画展のチケットをご購入の方は常設展もご覧いただけます。

○常設展観覧券でコレクション展及びグラス・アート・ガーデンをご覧いただけます。

下記に該当する方は常設展及び企画展観覧料が無料となります。

●高校生以下の方 ●富山市に住民登録がある70歳以上の方 ●お出かけ定期券又はシルバーパスカをご提示の65歳以上の方 ●身体障害者手帳、療育手帳、又は精神障害者保健福祉手帳をご提示の方及びその介護者(1名) ●団体引率者

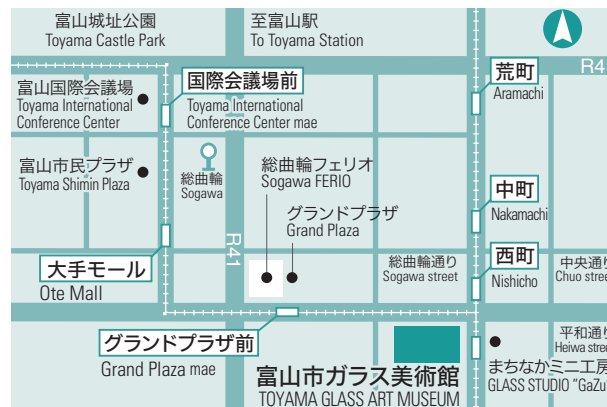
## アクセス

〈市内電車〉富山駅から市内電車環状線「グランドプラザ前」下車 徒歩約2分  
富山駅から市内電車南富山駅前行き「西町」下車 徒歩約1分

〈車・観光バス〉富山I.Cより約20分 ※専用駐車場はありません。車又は観光バスでお越しの際は周辺駐車場をご利用ください。

〈空路〉富山空港より地鉄バス(富山空港線)「総曲輪」下車 徒歩約4分

〈自転車〉自転車用の駐輪場は「TOYAMA キラリ」の南東側にあります。自動二輪車はご利用いただけません。



TOYAMA 富山市  
ガラス美術館  
TOYAMA  
GLASS ART MUSEUM

〒930-0062 富山県富山市西町5番1号  
Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310  
E-mail bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp  
HP www.toyama-glass-art-museum.jp

2017.4 - 2018.3  
年間スケジュール

平成29年 4月15日[土]ー7月9日[日]

## 1 雲母Kira 平山郁夫とシルクロードのガラス展 展示室1・2・3 [2F-3F]

いにしへの時代より、ガラスはその自由な造形や鮮やかな色彩、輝きによりあらゆる人々を魅了してきました。本展では、平山郁夫シルクロード美術館が所蔵しているシルクロードの精華ともいべきガラスの名品約350点を、古代メソポタミアからイスラム時代まで約3000年におよぶガラスの歴史と、その驚くべき“超絶”技法とともに紹介いたします。また、このガラスコレクションを収集した平山郁夫(日本画家1930-2009)の絵画約40点も併せて展示いたします。平山郁夫が描くシルクロードの幻想世界をガラスの名品とともにご堪能ください。



《浮出円文切子碗》ササン朝ペルシア 5-7世紀 平山郁夫シルクロード美術館所蔵



平山郁夫《バルミラ遺跡に行く 夜》2006年 平山郁夫シルクロード美術館所蔵

平成29年 7月22日[土]ー11月5日[日](予定)

## 2 アン・ヴォルフ展(仮称) 展示室1・2 [2F] 3 家住利男展(仮称) 展示室3 [3F]

スウェーデンの作家アン・ヴォルフ(1937-)は、自身の人生やアイデンティティを深く探求する中で、ガラスあるいは金属を用いた彫刻や、絵画作品などを生み出してきました。人間の頭部や身体をモチーフとするアン・ヴォルフの作品は、生きている中で時の流れや、人間の持つ多様な側面を見る者に意識させます。本展では、初期作品から現在に至るまでの作品を展示し、作家の創作活動の歩みを紹介します。



アン・ヴォルフ《ANDANTE》2005年 AWFG所蔵 撮影:Ludger Paffrath



家住利男《F.160201》2016年 作家蔵 撮影:家住利男

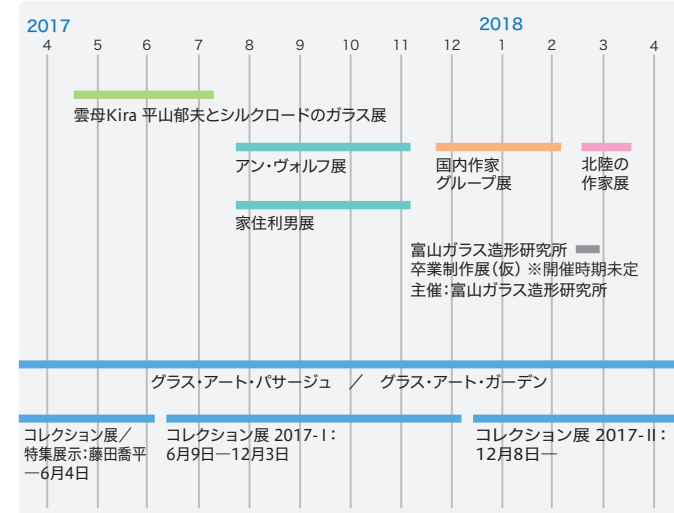
平成29年 11月23日[木・祝]ー2月4日[日](予定)

## 4 国内作家グループ展(仮称) 展示室1・2・3 [2F-3F]

日本の現代ガラス美術の萌芽は昭和初期(1920年代末)より見られ、この頃からガラスを表現の素材として用いる作家が現れ始めました。第二次世界大戦以降、ガラスによる作品制作を行う作家は次第に増え、現在までに作家達それぞれの考え方や、素材との関わり方を反映した多様な作品が生み出されてきました。本展覧会では、およそ90年の間で豊かに展開してきた日本の現代ガラス美術の様相を紹介します。

平成30年 2月17日[土]ー3月21日[水・祝](予定)

## 5 北陸の作家展(仮称) 展示室1・2 [2F]



※記載内容は変更する場合があります。